

タイ研修で日本人観光客誘致策を企画 タイ観光プランを旅行会社に公開プレゼン

追手門学院大学（大阪府茨木市、学長：川原俊明）が行っている「タイ国際協力プログラム」の参加学生らが考案したタイ東北部の観光プランを、旅行会社に公開プレゼンテーションする成果発表会を、12月5日に開催します。

学生たちは、タイ国際協力プログラムという「国際協力」と「ビジネス」の視点から問題・課題解決能力を養う海外研修に参加しました。研修先はコンケンを中心とした国内最大のシルク産業地域で田園風景が広がるタイ東北部。近年は観光誘致促進に注力していますが、観光資源は乏しく日本での知名度も低いことが課題です。

「日本人観光客を誘致する観光プランを企画する」という研修課題の下、15名の学生たちが現地調査を行い、有機農業ファームとシルク産業が盛んな村に注目し、体験を重視した観光プランをまとめました。現地でタイ政府関係者に行ったプレゼンテーションで高い評価を受けたことから、その案をブラッシュアップし、日本国内の旅行会社にもプレゼンテーションを行うことになりました。



タイでのシルク織物の調査・体験



タイ政府関係者へのプレゼン(2019年8月)

【ポイント】

- タイ国際協力プログラムに参加した学生が研修の成果を観光プランにまとめ公開プレゼン
- 有機農業ファームとシルク産業が盛んな村での体験を重視したプラン
- 国内旅行会社に公開プレゼンし、商品化への検討をはたらきかける

【概要】

日時：2019年12月5日（木）16時40分～18時10分

会場：追手門学院茨木総持寺キャンパス

大学棟・アカデミックアーク A141 教室（プレゼンテーションスタジオ）

（大阪府茨木市太田東芝町1-1）